

県立青少年教育施設指定管理者 外部評価の結果

(社会教育課)

(概要)

指定管理者による施設運営を行っている県立青少年教育施設2所（朝霧野外活動センター・三ヶ日青年の家）について、外部評価委員会を設置し、その管理運営が健全・安全かつ、適切に行われているか、令和3年度事業の評価を行った。

1 外部評価委員会

(1) 委員構成

役職	立場	氏名	所属
委員長	学識経験者	渋江 かさね	静岡大学 准教授
委員	利用者代表 (学校)	江間 昌史	浜松市立三ヶ日中学校 校長
委員	利用者代表 (学校)	藤井 美賀	富士宮市立東小学校 校長
委員	危機管理専門家	阿部 郁男	常葉大学社会環境学部 教授
委員	海洋活動専門家	鉄 多加志	東海大学海洋学部 准教授
委員	野外活動専門家	脇坂 茂	日本ボーイスカウト静岡県連盟 副理事長
委員	財務専門家	兼高 則之	公認会計士 兼高会計事務所

(2) 開催状況

	開催日	会場	協議内容
第1回	4月28日(木)	朝霧野外活動センター	評価項目・評価方法確認、施設視察及びヒアリング
第2回	5月12日(木)	三ヶ日青年の家	施設視察及びヒアリング
第3回	7月7日(木)	県庁	評価決定

2 評価結果

朝霧野外活動センター（詳細は別紙）

【評価の総括】 A (R2…A R1…A H30…A)

【参考：指定管理期間】

年度		H19~21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
朝霧	期	第1期 (3年間)	第2期 (5年間)			第3期 (5年間)			第4期 (5年間)						
	指定管理者	日本キャンプ協会グループ													
三ヶ日	期	/	第1期 (3年間+1年間)		第2期 (3年間)		第3期(5年間)			第4期 (5年間)					
	指定管理者	/	(株)小学館集英社 プロダクション		三ヶ日フィールドパートナーズ										

令和3年度 県立青少年教育施設指定管理者 外部評価結果

＜朝霧野外活動センター＞

◇ 9段階評価ポイント

評 価 項 目		評価ポイント		
		R3 年度	R2 年度	R1 年度
評価の総括		A	A	A
項 目 別 評 価	①青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理	A	A	A
	②青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営	A	A	A
	③青少年の健全な育成を図る事業の運営	A	A	A
	④利用者への適切な対応	A-	A	A
	⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開	A+	A+	A+
	⑥安全な野外活動実施のための取組について	A	A	A
	⑦提案や要望に対する実行状況	A	A-	

(参考) 9段階評価ポイントの意味

記号	意味	その他
A	十分満足できる	ABC に対し、必要に応じて+の付加記号を付ける。
B	おおむね満足できる	
C	努力を要する	

◇ 評価の総括 【9段階評価 **A+** **A** **A-** **B+** **B** **B-** **C+** **C** **C-**】

- ・職員が専門知識とノウハウを持ち、周辺の自然環境を生かしながら、安全・安心に利用できる青少年施設として、しっかりと管理・運営されている。
- ・対応できることには積極的に取り組まれており、様々な新しい取り組みも行われている。青少年教育施設として、総合的には十分に満足できる。
- ・コロナ禍により運営が厳しい中でも、例年通り各項目とも利用者からの評価は高い。メンテナンスや経費の削減などに取り組み、一定の成果を上げていることも、評価できる。
- ・令和3年度は引き続きコロナ禍の影響により利用料収入、事業収入が減少し、燃料費高騰による電気料等が増加する一方、消耗品費、修繕費等の減少により、収支差はプラスを維持出来た。令和4年度は引き続き燃料費の高騰傾向が続くため、収入増、経費削減のさらなる努力が必要になる。
- ・運営会社の財務状態は、特に問題はないと考える。

◇ 要望項目

- ・職員間の情報共有と連携を強化し、利用者の満足度をさらに高めてもらいたい。
- ・利用者に対して迅速な対応を促進するため、web 上手続きの導入を検討してほしい。
- ・燃料費の高騰等、想定を超える社会変動については、県とも協議しながら対応を進めてほしい。
- ・施設の特徴を活かした新たなプログラムの開発など、施設活用の方法を引き続き検討してもらいたい。
- ・安全対策については、起こりうる事態を具体的に想定し、利用者への情報提供を一層進めてほしい。

◇ 項目別評価

①青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理 [9段階評価 A]

- ・本館、キャンプ場とも十分に管理されており、モニター調査の結果からも利用者の評価が高いことから、安全・安心に利用できる施設の管理が適切に行われていると言える。
- ・施設の老朽化や施設の魅力である設備のアップデートについては、県と相談して補修や更新を計画的に取り組むことで、より魅力的な施設になることを期待する。

②青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営 [9段階評価 A]

- ・業務負担の平準化を目指した適切な人員配置を行っている。
- ・担当所員による各プログラムの説明も親切で分かりやすく、利用団体が安心して安心して活動に取り組むことができている。
- ・コロナ禍で、利用がキャンセルになった時期等の時間を活用し、職員の資質向上にも積極的に取り組んでいる。

③青少年の健全な育成を図る事業の運営 [9段階評価 A]

- ・朝霧の環境を生かした特色ある事業の展開と利用団体への丁寧な対応が、利用者から高い評価を得ている。
- ・コロナ禍で予定通りに実施できない事業についても、開催時期や開催方法を工夫し、キャンプブームの追い風を受けながら、積極的に新規事業を展開しようとしている。
- ・プラネタリウム等の機材の整備等、事業が確実に実行できるように努め、さらなる充実が図られることが期待される。

④利用者への適切な対応 [9段階評価 A-]

- ・コロナ禍にあって、利用団体の要望は高くなっているが、全体的に限られた人数の中でよく対応している。
- ・職員の自然体験活動に関する専門性が高い。一方で、モニター調査の結果から、職員間の連携や、利用者の要望に対する丁寧な対応については、今後、検討が必要である。
- ・申込み時をはじめ、施設の利用手続きについて電子化を進めることで、利用者の負担が軽減される。

⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開 [9段階評価 A+]

- ・朝霧の自然を生かしたプログラムは利用者の満足度が高く、青少年教育施設として十分に評価できる活動が展開されている。
- ・所員や運営スタッフの教育に関しては、参加者に対して適切な指導が出来るように十分な教育体制を整え、利用者の状況に応じた打ち合わせ対応もされている。
- ・主催事業では、長期キャンプの指導者養成講習会や新たなオリエンテーリングコースを設置している。

⑥安全な野外活動実施のための取組について [9段階評価 A]

- ・安全対策マニュアルを全所員が理解し、資質向上のためにリスクマネジメント研修に参加させるなどの取り組みがされている。
- ・これまでのリスクマネジメントの研究成果をホームページで公開するという計画が、実施できていなかったため、次年度の完成を期待している。
- ・スケートの活動における事故事例に関しても、利用団体が理解しやすい工夫をして、再発防止に役立ててもらいたい。

⑦提案や要望に対する実行状況 [9段階評価 A]

- ・提案や要望に対して積極的に対応している。
- ・前年度に広報活動の効果を検証し、効果が認められた方法については、さらに効果が出るよう工夫して実施することを期待する。
- ・前年度の要望項目であった、「利用者に対する伝え方のノウハウ等を職員同士が共有するなど力量のさらなる向上に努めてもらいたい」については、利用者から課題・要望が出ているため、引き続き努力していただきたい。